

令和 7 年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

こ ども の 保 健

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル（HB～B）で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …



(濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …



- 5 各問に対し、2 つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、消化器に関する説明である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 唾液中の消化酵素であるアミラーゼは炭水化物を分解する。
- B 乳児期の胃は縦長であり、噴門部の筋肉が未発達なため、溢乳しやすい。
- C 食物中の脂肪を分解する働きを持つ消化酵素であるリパーゼは肝臓で生成される。
- D 胃液中の消化酵素であるペプシンはたんぱく質を分解する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問2 次の文は、子どもの健康に関する主な指標についての説明である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 周産期とは妊娠満22週から出生後満28日までをいう。
- B 周産期死亡率は母体の健康状態に強く影響される。
- C 出生1,000人あたりの生後1年未満の子どもの死亡数を乳児死亡率という。
- D 「2021年人口動態統計」(厚生労働省)による日本の乳児死亡率は、同年次のイギリス、オランダ、オーストラリア、韓国と比較して高い値である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	×	×
4	×	○	○	○
5	×	○	○	×

問3 次の【Ⅰ群】の語句と、【Ⅱ群】の説明を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ
選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 反応性愛着障害
- B 場面緘黙
- C 口唇裂
- D シャフリングベビー

【Ⅱ群】

- ア 座ったまま前方に脚を伸ばして、足先に向かってお尻を移動させながら前に進むこと
- イ 学校等の特定の社会状況では話すことができないが、家庭等のほかの状況では話すことができる状態
- ウ 先天的に鼻の下から上唇が裂けている状態
- エ 極端なネグレクト環境において生じる精神科障害の1つ
- オ 女性のX染色体に異常がある先天性の染色体異常症

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | イ | ア | エ | オ |
| 3 | ウ | エ | ア | オ |
| 4 | エ | イ | ウ | ア |
| 5 | オ | ウ | ア | イ |

問4 次の文は、子どもの発達に関する記述である。(A)～(E)にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

微細運動は、主に(A)を使う細やかな運動である。微細運動の発達には、目と手の(B)運動の発達と(C)反射である把握反射の(D)が関係しており、(E)的に物をつかめるようになる。

【語群】

ア	体幹	イ	手指	ウ	原始	エ	自発	オ	消失	カ	反射
キ	協調	ク	出現								

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	ア	イ	エ	オ	ウ
2	ア	エ	ウ	ク	エ
3	イ	キ	ウ	オ	エ
4	イ	キ	エ	ク	カ
5	カ	エ	オ	キ	ウ

問5 次の文は、子どもの便秘に関する説明である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 便の回数が週3回より少なくて出にくい、または5日以上出ない日が続けば便秘と考える。
- B 排便時に痛みや不快感が伴ったり、肛門が切れ出血したりしても、毎日便が出ていれば便秘ではない。
- C 慢性的な便秘は、直腸に便がたまっている状態に慣れてしまい、治りにくくなる。
- D 新生児の便秘の原因のひとつに哺乳不足がある。
- E 小さいコロコロの便や柔らかい便が少しずつ1日に何回も出ている場合も便秘を疑う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	○
2	○	○	×	○	×
3	○	×	○	○	○
4	×	○	○	×	○
5	×	×	○	×	×

問6 次の文は、子どもの先天性心疾患についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 先天性心疾患の発生頻度は、およそ出生100人に1人である。
- B 先天性心疾患で最も多いのは、心室中隔欠損症（VSD）である。
- C 心室中隔欠損症（VSD）は自然治癒しないため、新生児期に手術が必要である。
- D 先天性心疾患では、哺乳力の低下や体重増加不良がみられることがある。
- E 心室中隔欠損症（VSD）では、左心室から右心室に血液が流れ込む。

（組み合わせ）

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	○	×	×
3	○	○	×	○	○
4	○	○	×	×	○
5	×	○	○	○	×

問7 次の文は、腸重積についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 定期的に突然激しく泣いては泣き止む状態を繰り返す間欠的啼泣が起こる。
- B 灰白色や淡白色の下痢を呈する。
- C 原因は不明である。
- D 診断が遅れ腸管が壊死した場合には、造影剤や空気による高圧注腸での整復を試みる。
- E 小腸が大腸の中に入り込んで戻らなくなり、腸閉塞になる場合がある。

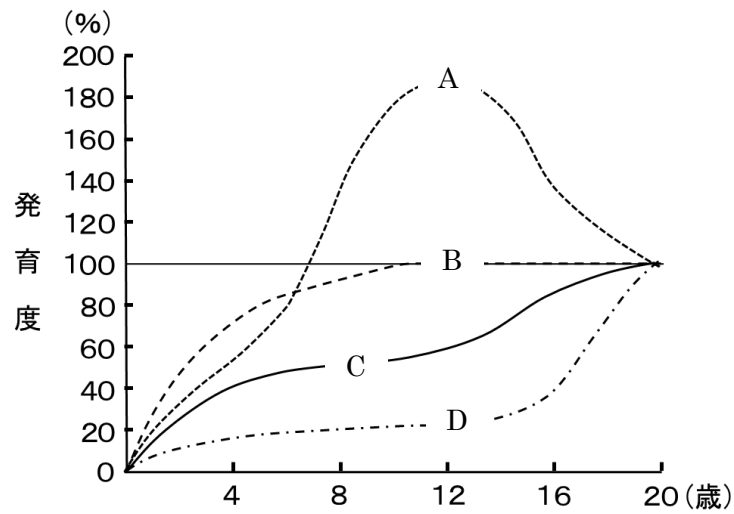
(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	×
2	○	×	○	○	×
3	○	×	○	×	○
4	×	○	○	○	○
5	×	○	×	×	○

問8 次のうち、「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）」（こども家庭庁 令和5年12月）において、特に重要視されている時期として適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 妊娠前から新生児期まで
- 2 妊娠期から小学校1年生まで
- 3 出生直後から8歳になるまで
- 4 3歳から小学校卒業まで
- 5 保育所入所から義務教育終了まで

問9 次の図は、スキヤモン（Scammon）の発育曲線である。図中に示すA～Dの曲線と説明文の正しい組み合わせを一つ選びなさい。



- A リンパ節、扁桃腺、間質性リンパ等の分泌組織の成長
- B 骨格、筋肉全体、各臓器、血液量等体幹の発育
- C 脳、脊髄、感覚器等の神経組織の成長・発達
- D 子宮、卵巣、睾丸、前立腺等の生殖器官の発育

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A D
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問10 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

保育所に在籍するMちゃん（5歳、女兒）は、両親の仕事の都合で2か月前に来日したばかりの外国籍の幼児である。保護者である両親を含め、家族全員母国語は日本語ではない。

【設問】

この事例における保育士の配慮として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食事や生活習慣等、母国との違いが大きく、慣れるまでに時間がかかることもあるため、日本のやり方を強制せず、保護者と相談しながら接する。
- B 言葉や日本の習慣がわからず、戸惑いや不安を感じることもあるため、話しやすい雰囲気づくりを心掛ける。
- C 緊急連絡先は、保護者と併せて日本語が通じる人も確認しておく。
- D 宗教上の理由等により食への配慮が必要な場合や、行事への参加が難しい場合もあるので確認しておく。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	×

問11 次の文は、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン（2019年改訂版）」（厚生労働省）に関する記述である。A～Dを生活管理指導表の活用の流れの順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 実施計画書を作成し、保育所での対応について、保育所職員が共通理解をもつ。
- B 保護者からの申請や健康診断により、アレルギー疾患がある子どもを把握する。
- C かかりつけ医に生活管理指導表の記載を依頼する。
- D 保護者と面談を実施し、保育所での対応内容について確認する。

（組み合わせ）

- 1 B→C→A→D
- 2 B→C→D→A
- 3 C→B→A→D
- 4 D→B→C→A
- 5 D→C→A→B

問12 次の文は、「保育所保育指針」第3章「健康及び安全」4「災害への備え」(3)「地域の関係機関等との連携」の一部である。(A)～(D)にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ (A) の支援の下に、地域の関係機関との (B) な連携を図り、必要な協力が得られるよう努めること。
- ・ 避難訓練については、地域の関係機関や (C) との連携の下に行うなど (D) すること。

【語群】

ア 定期的	イ 子ども	ウ 都道府県	エ 工夫	オ 日常的
カ 保護者	キ 市町村	ク 計画		

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ウ | ア | イ | エ |
| 2 | ウ | オ | イ | ク |
| 3 | ウ | オ | カ | エ |
| 4 | キ | ア | イ | ク |
| 5 | キ | オ | カ | エ |

問13 次の文は、産後ケア事業に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 令和3年度から、産後ケア事業の実施が市区町村の努力義務となった。
- B 居宅訪問（アウトリーチ）型は、病院等で宿泊による休養の機会を提供している。
- C 通所（デイサービス）型は、個別又は集団に対して支援を行える施設に來所させて実施する。
- D 産後ケア事業の対象者に、里帰り出産をしている母親は含まれない。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問14 次の文は、「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン【事故防止のための取組み】～施設・事業者向け～」（平成28年3月 内閣府）における「事故の発生防止（予防）のための取組み」に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 睡眠中、ヒモまたはヒモ状のものを乳児の周りに置かない。
- 2 食事の提供中に乳幼児を驚かせない。
- 3 プール活動や水遊びの際は、定期的に視線を動かしながら監視する。
- 4 食物アレルギーの子どもの食事を調理する担当者を明確にする。
- 5 除去食や代替食は、普通食と形や見た目をできるだけ同じにする。

問15 次の【Ⅰ群】の疾患名と【Ⅱ群】の主にみられる特徴を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 自閉スペクトラム症（ASD）
- B 注意欠如多動症
- C 限局性学習症
- D チック症

【Ⅱ群】

- ア 集中できない、順序立てて取り組むことが苦手、衝動的に行動する、じっと座ってられない、順番が待てない。
- イ 言葉の遅れ、オウム返し、視線を合わせることが少ない、同じ遊びを繰り返す、決まった順序やものの位置等にこだわる。
- ウ まばたき、首振り、咳払い、鼻鳴らし等を繰り返す。
- エ 見る能力や聞く能力はあるのに、読む、書く、聞く、話す、計算する、推論する等の習得と使用に困難がみられる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | ア | イ | エ | ウ |
| 3 | イ | ア | エ | ウ |
| 4 | イ | ウ | エ | ア |
| 5 | エ | ウ | ア | イ |

問16 次の文は、「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」（令和5年10月一部改訂 こども家庭庁）における発熱時の対応に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 熱性けいれんが起きたときは、舌を嚙まないように、口の中にタオルやハンカチを入れる。
- 2 発熱時の体温は、あくまでもめやすであるので、個々の平熱に応じて個別に判断する。
- 3 熱が上がって暑がるときには薄着にし、寒気があるときは保温する。
- 4 高熱が出ている場合は、首のつけ根、わきの下、足のつけ根を冷やす。
- 5 水分補給を促し、吐き気がない場合は、本人が飲みたいだけ与えてよい。

問17 次の文は、令和7年3月現在の子どもの予防接種に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 五種混合ワクチンは、ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ、肺炎球菌感染症を予防する。
- B 不活化ワクチン接種後は、接種間隔に制限なく、次のワクチン接種が可能である。
- C B型肝炎ワクチンは、任意接種の生ワクチンである。
- D MRワクチンと水痘ワクチンは同時接種が可能である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問18 次の文は、乳幼児の体格やその評価に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 乳幼児身体発育曲線の50パーセンタイル値は平均値である。
- B カウプ指数の計算方法は、ローレル指数と同じである。
- C 出生時の平均値を比べると、頭囲は胸囲より大きい。
- D 体重は、生後1年で出生体重の約2倍となる。
- E 身長は、生後4年で出生時身長の約2倍となる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	×	×	○	×
3	×	○	×	○	○
4	×	×	○	×	○
5	×	×	×	○	○

問19 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

Sちゃん（3歳、男児）は、38度前後の発熱と同時に、淡い咳、鼻水やくしゃみ、結膜充血や目やにが2～4日程度続いた。また口の中の頬粘膜には、1mm程度の小さな白色の斑点（コプリック斑）がみられた。その後、体温が37度台に下がったが、再び39度から40度台の高熱となり、全身に赤い発疹が広がった。発疹があらわれてから3～4日ほどで熱は下がったが、発疹の痕がしばらく残った。

【設問】

次のうち、この男児の症状に最もあてはまる疾患を一つ選びなさい。

- 1 突発性発疹
- 2 溶連菌感染症
- 3 咽頭結膜熱（プール熱）
- 4 麻疹（はしか）
- 5 風疹（三日ばしか）

問20 次の文は、子どもの誤飲事故への対応に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ガソリンを誤飲した場合は、誤って気管に入り、肺炎を起こす恐れがあるので、吐かせずにすぐに医療機関を受診する。
- B ボタン電池を飲み込んだ可能性がある場合、同じものを持参するか、どんな電池であったか書き留め、すぐに医療機関を受診する。
- C ナフタリン（防虫剤）をかけらでも食べている場合は、牛乳を飲ませ、すぐに医療機関を受診する。
- D 複数の磁石を誤飲した場合は、お腹の中で磁石同士がくっついて、胃や腸に穴が開くことがあるため、すぐに医療機関を受診する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	○	○	×